



令和5年度  
学校だより

吉井小学校だより

輝くよいっ子

7月

14日 第21号

文責：小西貴仁

## 生物多様性の学習（3・4年生）！

7月11日（火）、阿南工業高等専門学校の大田直友さん、坂本真理子さんをゲストティーチャーとしてお招きし、「生物多様性の学習」を3・4年生が行いました。

大田さんからは、最初に「阿南市は、生きもののまち」というお話をして頂きました。それは、どうしてかという、①阿南市には、「山、川、海、里すべての環境があるから」②阿南市には、「特有の地形や環境で進化した固有種もいるから（阿南にしかない生きものがいるから）」③阿南市は、「豊かな生きものと産業が共存する住みやすいまちだから」ということを教えて頂きました。つまり、阿南市は、みんなに親しまれ、愛され、尊ばれている世界にほこれる、自然豊かな場所であるということをお話して頂きました。

次に、「阿南市のホットスポット6か所についてのクイズ」をしました。

クイズの内容は、「①伊島について」「②蒲生田について」「③那賀川・桑野川河口域について」「④出島野鳥園について」「⑤桑野川上流について」「⑥太龍寺近辺について」でした。子どもたちは、それぞれの場所にちなんだ生きものの様子をクイズ形式で答えていきながら、阿南市の生物多様性について学ぶことができました。合計12問ありましたが、くわしく知っていないと答えられない問題もありました。私も一緒に考えましたが、12問中6問の正解でした。子どもたちは、阿南市の生きものの様子についてよく知っていました。そのなかでも、『加茂谷地区のカタツムリ』についての問題はくわしく知っていました。

大田さんからは、「阿南の加茂谷地区だけでも80種以上のカタツムリがいること」や、「加茂谷は石灰岩（サンゴ礁由来）が多い地形だからカタツムリがたくさんいる」ということについてのお話もして頂きました。その他にどんな問題があったかについては、子どもさんにお聞きください。（ヒント：ウミガメや鳥、植物、かになど）



＜大田さんと坂本さんのお話を聞いている様子＞



＜「カタツムリ王国」加茂谷にどうしてカタツムリが多いのかについてのお話＞

今回は、3・4年生がスライドやクイズを使って「生物多様性」についての学習を行いました。

次回の学習では、実際に加茂谷地区のカタツムリの生息する場所にフィールドワークに出かけます。加茂谷にしか生息しないカタツムリを実際に観察に行く予定です。

次回（7月19日）は、4年生が四国大学の先生と一緒に現地に出向き、カタツムリを探しながら、生物多様性の学習を行います。

最後に、全員に記念の缶バッジを頂きました。ありがとうございました。

